

環境会計（平成22年度決算）

【環境保全コスト及び環境保全効果】

環境保全コスト：環境保全対策のための投資額及び費用額を表しています。

環境保全効果：環境保全対策に取り組んだ結果、環境負荷をどれだけ削減できたかをなるべく定量的に算出しています。

			環 境 保	
			22年度（千円）	
			費用額	投資額
事業エリア内コスト			1,349,404	-
公害防止コスト	1	ばい煙ばいじん及び排ガスの測定	590	-
	2	低排出ガス車の購入	8,338	-
地球環境保全コスト	3	水運用の効率化	-	-
	4	省エネルギー対策推進工事 (浄・給水場の照明器具、省エネ機器の導入)	10,557	-
	5	ちば野菊の里浄水場太陽光発電設備	3,993	-
資源循環コスト	6	配水管の浅層埋設	-	-
	7	建設発生土のリサイクル	357,236	-
	8	鉛給水管引き抜き工法の採用	-	-
	9	浄水場発生土の乾燥（福増浄水場を除く）	560,090	-
	10	浄水場発生土の天日乾燥（福増浄水場）	63,973	-
	11	浄水場発生土の有効利用	295,742	-
	12	船橋合同庁舎・水質センターの雨水利用	269	-
	13	水質試験及び原水水質自動監視装置廃液処理	2,102	-
	14	漏水防止	44,402	-
	15	浄・給水場及び水質センターの一般・産業廃棄物処理	2,092	-
			451	-
上・下流コスト	16	グリーン購入（再生コピー用紙の購入等）	-	-
	17	エコマーク被服の購入	451	-
			35,572	-
管理活動コスト	18	環境情報の開示	5,746	-
	19	環境保全に関する広報活動	28,831	-
	20	冊子「水のはなし」負担金	29	-
	21	太陽光発電パンフレット作成	-	-
	22	印旛沼水質保全協議会負担金	246	-
	23	印旛沼水質保全協力費	320	-
	24	江戸川を守る会負担金	400	-
研究開発コスト			-	-
社会活動コスト			-	-
環境損傷対応コスト			-	-
合 計			1,385,427	-

【環境保全対策に伴う経済効果】

環境保全対策を講じたことにより、講じなかった場合と比べて節減できた（発生しなかった）と認められる費用額を表しています。

		対応する環境保全コストの項目	22年度（千円）	
事業 エリア 内 効果	地球環境保全効果	3	水運用の効率化	7,559
		4	省エネルギー対策推進工事 (浄・給水場の照明器具、省エネ機器の導入)	19,906
		5	ちば野菊の里浄水場太陽光発電設備	867
	資源循環効果	6	配水管の浅層埋設	26,747
		7	建設発生土のリサイクル	418,395
		8	鉛給水管引き抜き工法の採用	704
		10	浄水場発生土の天日乾燥（福増浄水場）	115,573
		11	浄水場発生土の有効利用	258,210
		14	漏水防止	202,789
		合 計		